

EFR-6AC  
デジタル pH(ORP)計  
データビューワ  
取扱説明書

(株)富士化学計測

本社 東京都三鷹市新川5-9-9  
TEL. 0422(48)9391  
FAX. 0422(49)9790

## ソフトウェア使用許諾契約

「Data Viewer for SH2500A」「Parameter Loader for SH2500A」（以下、本ソフトウェアといいます）は、以下のソフトウェア使用許諾契約にご同意いただくことが、ご使用の条件となります。

ご使用に当たっては、ソフトウェア使用許諾契約をお読みの上、承諾いただくようお願いいたします。

### 第1条（使用権の適用範囲）

1. お客様における本契約の遵守を条件として、株式会社富士化学計測（以下、「当社」と言います）は、お客様に本ソフトウェアの非独占的な使用権を許諾します。
2. お客様は、ご購入いただいた当社製品を使用するために、本ソフトウェアが同一法人内で使用することを条件に、ライセンス数の制限なくインストールできます。

### 第2条（複製の制限）

お客様は、本ソフトウェアのバックアップを保有する目的でのみ、本ソフトウェアを複製することができません。

### 第3条（禁止事項）

本ソフトウェアについて、以下の行為を禁止します。

- a. 本ソフトウェアの機能の一部または全部を改変する行為。ただし、当社よりバージョンアップ等を提供し適用する場合はこの限りではありません。
- b. 本ソフトウェアを逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等を行う行為。
- c. 第三者に対する販売、譲渡、再配布、使用許諾等の行為。ただし当社より事前に了承を得ている場合は除きます。

### 第4条（著作権）

本ソフトウェア及び本ソフトウェアのマニュアル等に関する著作権は、当社に帰属します。

### 第5条（免責）

当社は、本ソフトウェアを使用した結果により生じた、お客様もしくは第三者の損害に対して、いかなる責任も負わないものとします。

以上

## <目次>

<b>1. 概要</b> .....	<b>1-1</b>
1.1 はじめに.....	1-1
1.2 データビューワについて.....	1-1
1.3 推奨動作環境.....	1-1
1.4 インストール.....	1-2
1.5 アンインストール.....	1-2
<b>2. 基本操作</b> .....	<b>2-1</b>
2.1 起動.....	2-1
2.2 ファイルを開く.....	2-2
2.3 ファイルの保存.....	2-4
2.4 SD カードのフォルダ構成.....	2-5
<b>3. 表示画面の基本構成</b> .....	<b>3-1</b>
3.1 トレンド画面.....	3-1
3.2 瞬時値.....	3-3
3.3 イベントサマリ.....	3-4
<b>4. メニューとツールバー</b> .....	<b>4-1</b>
4.1 メニュー一覧.....	4-1
4.2 ファイル.....	4-2
4.3 表示.....	4-3
4.4 ズーム.....	4-4
4.5 イベント/コメント.....	4-8
4.6 Language.....	4-10
4.7 ウィンドウ.....	4-10
4.8 ヘルプ.....	4-10
4.9 オプション設定.....	4-11
<b>5. その他の操作</b> .....	<b>5-1</b>
5.1 CSV ファイル変換.....	5-1
5.2 ファイル結合.....	5-2
5.3 通信設定.....	5-3
5.4 ネットワークからダウンロード.....	5-7
5.5 リアルタイムトレンド表示.....	5-8
5.6 スケール表示のマニュアル設定.....	5-10
5.7 印刷プレビュー設定.....	5-11

# 1. 概要

## 1.1 はじめに

本書は、デジタル pH(ORP) 計用データビューワのインストールおよび操作方法について記載してありますので、必ず本書を良く読んだ上で使用してください。

## 1.2 データビューワについて

このデジタル pH(ORP)計用データビューワは、デジタル pH(ORP)計本体にセッティングされている SD カードを、アダプタまたは FTP 通信を介して PC で記録データを参照することができます。

## 1.3 推奨動作環境

- Microsoft Windows 7 (SP1 以降) /8.1/10 (32bit、64bit)がインストールされているコンピュータ
- 500MB 以上の空き容量があるハードディスク
- OS が正常に動作するために必要な RAM 容量
- SD カード（推奨カード：パナソニック社製 1～32GB、サンディスク社製 1～32GB、ハギワラソリューションズ社製 1～32GB）
- メーカー製の PC（自作 PC や、ショップブランド PC では動作しない場合があります。）
- OS に対応したプリンタドライバ、プリンタ
- OS に対応したマウス、キーボード
- イーサネット通信ポート(10BASE-T、TCP/IP プロトコル)
- ディスプレイ解像度 1024×768 ピクセル(XGA)以上

## 1.4 インストール

- 1) アプリケーションを起動している場合はすべて終了させます。
  - 2) すでにデータビューワがインストールされている場合（以前のバージョンのデータビューワがインストールされている場合）は、コントロールパネルにあるアプリケーションの追加と削除を開き、データビューワを削除します。
  - 3) ファイルよりインストーラーをダウンロードします。
  - 4) 自動的にメニューが表示されますので、画面の指示に従って操作を進めます。  
インストール用メニューが表示されますので、画面の指示に従ってインストールしてください。データビューワとパラメータローダが同時にインストールされます。
- ※ ソフトウェアのインストールの際に、「.NET Framework」のインストールが必要な場合があります。  
その場合は、「.NET Framework」のインストールを行ってからソフトウェアをインストールしてください。  
Windows7に.NET Frameworkをインストールする際は、OSを最新の状態にアップデート後にインストールを行って下さい。Windows8.1/10はインストール済みとなりますのでインストールは不要です。
- 5) 「インストールが完了しました」のメッセージが表示されればインストール作業は完了です。

## 1.5 アンインストール

データビューワのアンインストールは、Windowsの[スタート]⇒[コントロールパネル]⇒[プログラムの追加と削除]にて、SH2500Aを選択し、Windowsの指示（注意事項を含む）に従って削除してください。データビューワとパラメータローダが同時にアンインストールされます。

なお、異なるバージョンをインストールする場合は、必ず次のバージョンをインストールする前に、現在入っているソフトウェアを上記の方法でアンインストールしてください。起動しないなど、正常に動作しなくなる場合があります。

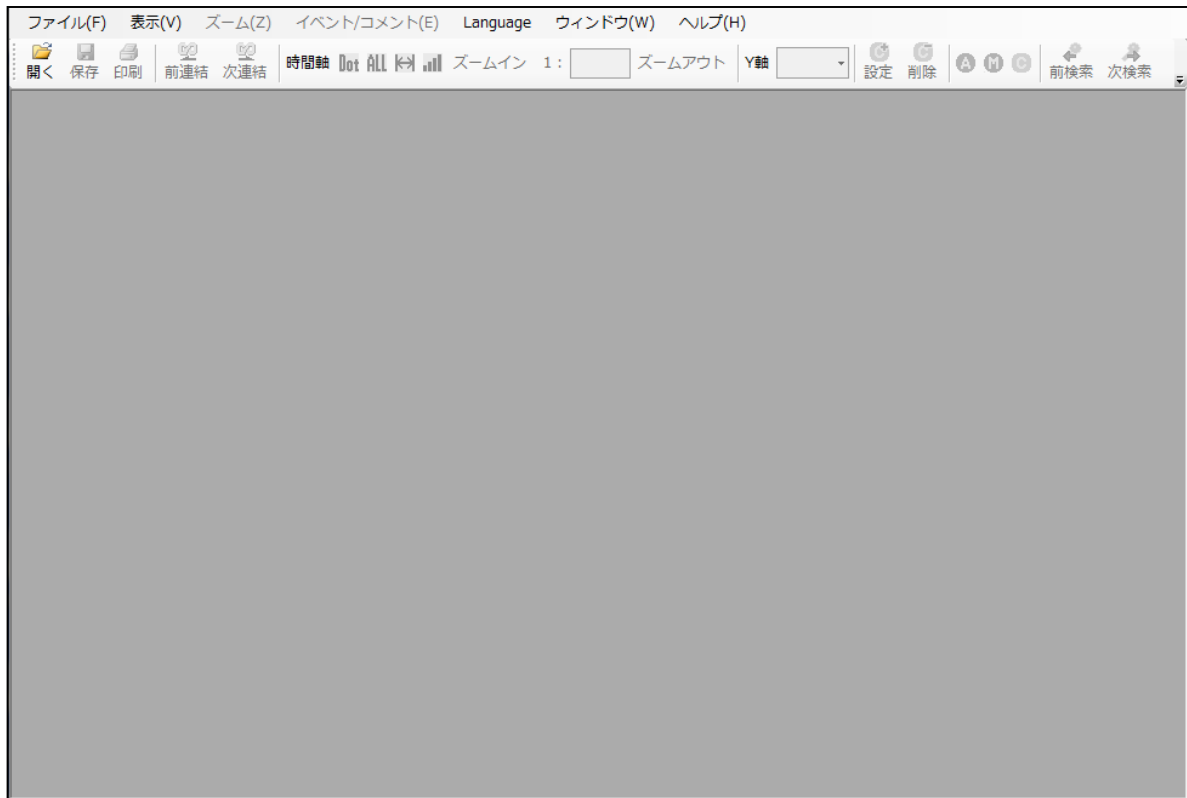
### [注意]

弊社製ペーパーレスレコーダ EFR-6A のソフトを同時にインストールすると、ソフトウェアが正常に動作しない場合があります。別の PC で運用する等の対策をご検討ください。

## 2. 基本操作

### 2.1 起動

Windows のスタートメニューの [すべてのプログラム] ⇒ [SH2500A] ⇒ [Data Viewer] を選択すると、データビューワ（下図）を起動できます。



## 2.2 ファイルを開く

記録データのファイルを開くには、以下の順に操作します。

- 1) SD カードからファイルを PC にコピーします。

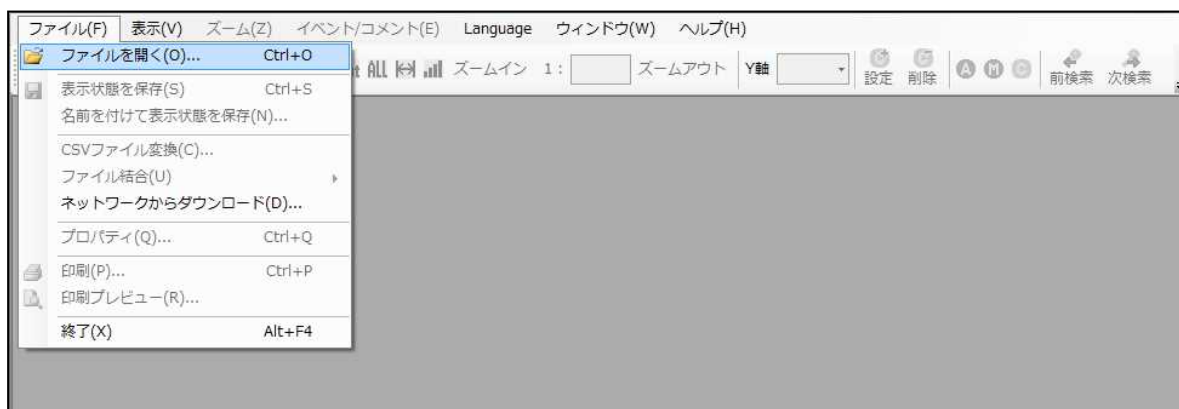
デジタル pH(ORP)計本体に SD カードを挿入している状態で記録すると、SD カード内に [pHmeter] というフォルダが自動的に作成されます。

ファイルが保存されている SD カードを PC に接続し、[pHmeter] ⇒ [Data] から任意のフォルダまたはファイルを選択し、PC にコピーします。Data 内に作成されるフォルダ詳細については「2.4 SD カードのフォルダ構成」参照してください。

※ SD カードリーダー（別売）が必要になる場合があります。

- 2) [ファイル] ⇒ [ファイルを開く] を選択します。

ツールバーの [開く] でも同じ操作ができます。ツールバーについては「4. メニューとツールバー」を参照してください。



- 3) PC にコピーしたフォルダ内の記録データファイルを選んで [開く] を選択してください。

フォルダ内の全ての記録データを確認する場合は dm ファイルを選び、個別の記録データを確認する場合は dmt ファイルを選び、「開く」を選択します。

・ dm ファイル：メイン記録管理ファイル

トレンドデータ(メイン)記録開始時間、終了時間、リンク情報を記録するファイルです。一つの dm ファイルで dmt ファイルを 50 個まで管理できます。

記録周期を 1 時間に設定、記録した場合、最大で 50 時間分の記録データを閲覧できます。

※管理下にある dmt ファイルが同じフォルダ内ないと開けませんのでご注意ください。

記録周期については本体取扱説明書「8.13 記録動作を設定する」を参照してください。

名前	更新日時	種類	サイズ
0000_150709154815.dm	2015/07/10 9:07	SH2500A DM File	1 KB
0000_150709154815.dmt	2015/07/10 9:07	SH2500A DMT ...	6 KB
0000_150709160000.dmt	2015/07/10 9:07	SH2500A DMT ...	10 KB
0000_150709170000.dmt	2015/07/10 9:07	SH2500A DMT ...	10 KB
0000_150709180000.dmt	2015/07/10 9:07	SH2500A DMT ...	10 KB
0000_150709190000.dmt	2015/07/10 9:07	SH2500A DMT ...	10 KB
0000_150709200000.dmt	2015/07/10 9:07	SH2500A DMT ...	10 KB
0000_150709210000.dmt	2015/07/10 9:07	SH2500A DMT ...	10 KB
0000_150709220000.dmt	2015/07/10 9:07	SH2500A DMT ...	10 KB
0000_150709230000.dmt	2015/07/10 9:07	SH2500A DMT ...	10 KB
0000_150710000000.dmt	2015/07/10 9:07	SH2500A DMT ...	10 KB

記録トレンドファイル(\*.dm;\*)

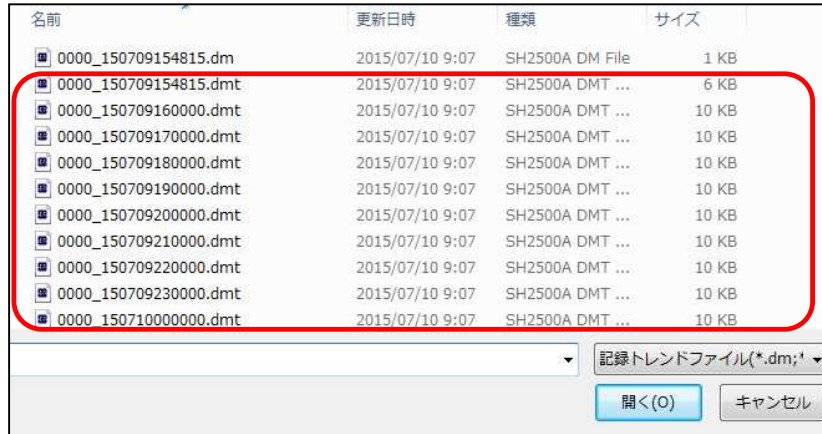
開く(O) キャンセル

・ dmt ファイル：メイン記録トレンドファイル

設定した記録周期毎に出力されるファイルです。

記録周期を 1 時間に設定した場合、dmt ファイルは 1 時間ごとに 1 つ生成されます。

記録周期については本体取扱説明書「8.13 記録動作を設定する」を参照してください。



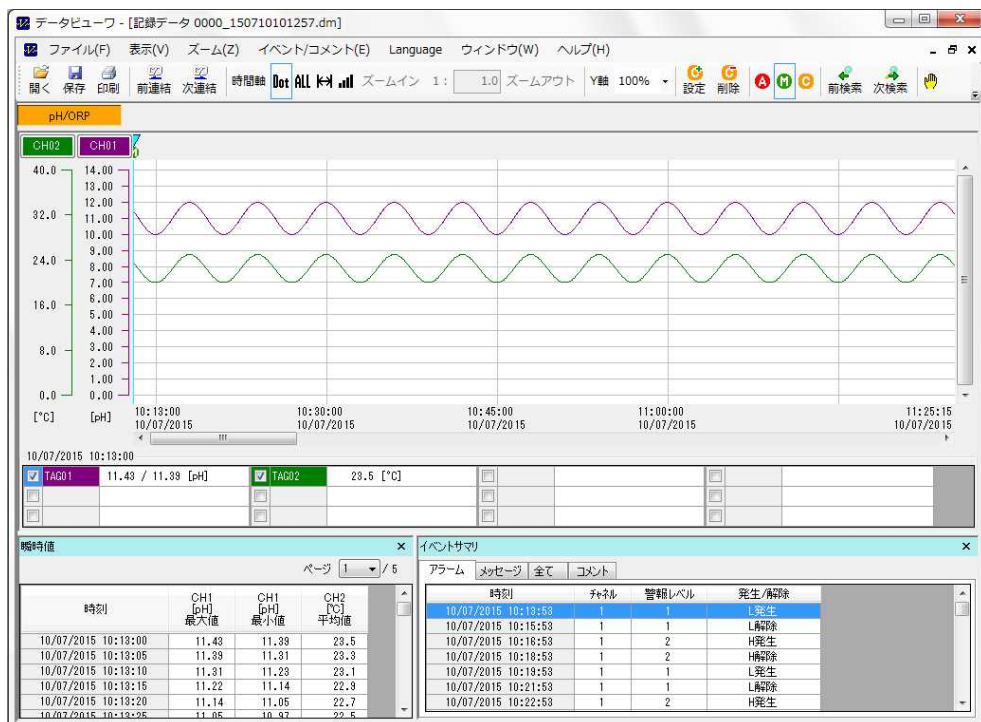
**[注意]**

dm、dmt のファイル名は変更しないでください。ファイルが開けなくなる恐れがあります。名前を付けて管理する際は、ファイル(dm、dmt)ではなく、フォルダの名前を変更し、管理してください。

データファイルに異常がなければ、以下のような画面が表示されます。

データビューは、トレンド画面、瞬時値、イベントサマリの3つで構成されています。瞬時値、イベントサマリは、メニューの [表示] から表示/非表示を切り換えることができます。また、同項目からレイアウトの変更もできます。

(画面の構成については「3. 表示画面の基本構成」を、メニューの [表示] については「4.3 表示」を参照してください。)



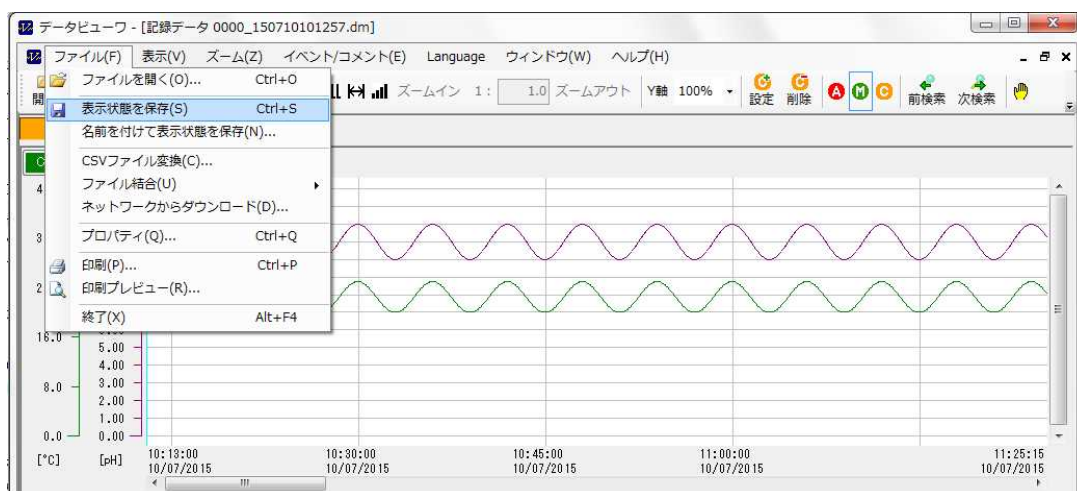


## 2.3 ファイルの保存

データビューワで設定した情報を保存します。保存される情報は以下になります。

- コメント（コメントについては「4.5 イベント/コメント」を参照してください。）
- ネットワークオプション設定（ネットワークオプション設定については「5.3 通信設定」を参照してください。）
- 目盛範囲（目盛範囲については「5.6 スケール表示のマニュアル設定」を参照してください。）
- 印刷設定（印刷設定については「5.7 印刷プレビュー設定」を参照してください。）

- 1) [ファイル] ⇒ [表示状態を保存] または [名前をつけて表示状態を保存] を選択します。  
(ツールバーの [保存] でも [表示状態を保存] と同じ操作ができます。)



- 2) [表示状態を保存] を選択すると、現在表示されている画面をビューワリンクファイル形式 (\*.dlk) で、開いた元のファイルに上書き保存します。  
[名前をつけて表示状態を保存] を選択すると、新しいファイル名と保存先を指定して保存します。  
保存したビューワリンクファイルを再度開くと、前回設定した状態で記録データを参照できます。  
※dlk ファイルは「ファイルを開く」からでは開くことができません。dlk ファイルを開く際は、保存したフォルダからファイルをダブルクリックし、開いてください。

名前	更新日時	種類	サイズ
0000_150709154815.dlk	2015/08/04 9:51	DLK ファイル	4 KB
0000_150709154815.dm	2015/07/10 9:07	SH2500A DM File	1 KB
0000_150709154815.dmc	2015/07/10 9:07	DMC ファイル	1 KB
0000_150709154815.dme	2015/07/10 9:07	DME ファイル	1 KB
0000_150709154815.dmt	2015/07/10 9:07	SH2500A DMT ...	6 KB
0000_150709160000.dmc	2015/07/10 9:07	DMC ファイル	1 KB
0000_150709160000.dme	2015/07/10 9:07	DME ファイル	1 KB
0000_150709160000.dmt	2015/07/10 9:07	SH2500A DMT ...	10 KB
0000_150709170000.dmc	2015/07/10 9:07	DMC ファイル	1 KB
0000_150709170000.dme	2015/07/10 9:07	DME ファイル	1 KB

## 2.4 SD カードのフォルダ構成

デジタル pH(ORP)計本体に SD カードを挿入すると、「pHmeter」フォルダが自動的に作成されます。「pHmeter」フォルダの中身は、以下の通りです。

[SD カードフォルダ構造]

[pHmeter]-+-[Cap]  
+-[Data]  
+-[Etc]  
+-[Prm]

### 1) Cap

キャプチャで取り込んだ画像がビットマップ形式(.bmp)で保存されます。最大 100 件まで保存できます。

### 2) Data

デジタル pH(ORP)計本体で測定したトレンドファイルが保存されます。記録を開始すると新しいフォルダが 1 つ作成され、記録中は dm ファイルが 50 個作成されるごとに新しいフォルダを作成していきます。

(dm ファイルについては、下記を参照してください。)

※ フォルダ名の命名規則

フォルダ名 : YYMMDDHHmmss

※ 命名規則

YY : 年 2 桁(00~99)

MM : 月 2 桁(01~12)

DD : 日 2 桁(01~31)

HH : 時 2 桁(00~23)

mm : 分 2 桁(00~59)

ss : 秒 2 桁(00~59)

xxxx : 記録管理ファイル・ナンバリング 4 桁(0000~0999)

また、フォルダごとに保存されているファイルの内容と命名規則は以下の通りです。

#### ・メイン記録管理ファイル

トレンドデータ(メイン)記録開始時間、終了時間、リンク情報を記録するファイルです。

一つの dm ファイルで dmt ファイルを 50 個まで管理できます。

(50 個以上の dmt ファイルが作成された場合、新しく dm ファイルを作成します。)

ファイル名 : xxxx\_YYMMDDHHmmss.dm

拡張子 : dm

#### ・メイン記録トレンドファイル

ファイル記録周期(メイン)にて分割された測定データファイルです。

ファイル名 : xxxx\_YYMMDDHHmmss.dmt

拡張子 : dmt

#### ・メイン記録イベントファイル

警報、メッセージ他の履歴ファイルです。

ファイル名 : xxxx\_YYMMDDHHmmss.dmt

拡張子 : dme

#### ・メイン記録コメントファイル

コメント機能のデータファイルです。

ファイル名 : xxxx\_YYMMDDHHmmss.dmc

拡張子 : dmc

3) Etc

文字入力画面の「リスト」キーで使用可能な文字列テーブル(.txt)等のデータが保存されます。  
(文字入力画面については本体取扱説明書の「7.2 設定変更」を参照してください。)

4) Prm

デジタル pH(ORP)計本体で設定した、パラメータ設定ファイル(.dsh)が保存されます。  
このフォルダに保存されている dsh ファイルは、デジタル pH(ORP)計本体で読み書きできます。  
パラメータローダで生成したファイルをデジタル pH(ORP)計本体で読み込む場合は、このフォルダに格納してください。

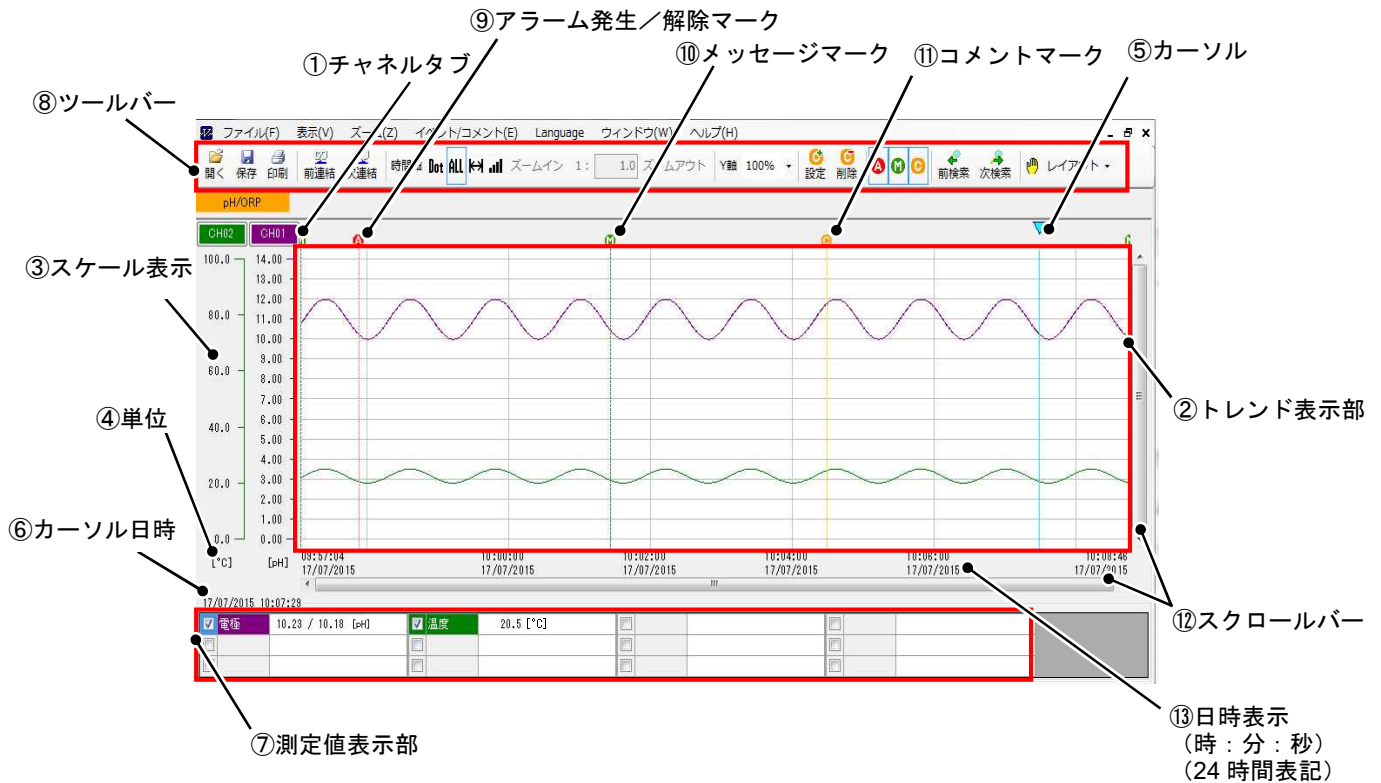
## [注意]

dm、dmt のファイル名は変更しないでください。ファイルが開けなくなる恐れがあります。名前を付けて管理する際は、ファイル(dm、dmt)ではなく、フォルダの名前を変更し、管理してください。

# 3. 表示画面の基本構成

## 3.1 トレンド画面

記録データのトレンド画面です。表示範囲やスケールなどはメニューやツールバーで変更可能です。詳細は「4. メニューとツールバー」を参照してください。以下に各部の名称と機能を示します。



### ① チャンネルタブ

選択された[①チャンネルタブ]は、チャンネルタブの一番右側に移動します。

### ② トレンド表示部

記録したトレンドデータを表示します。

トレンド内をクリックすると、カーソルが表示されます。(非タッチスクロール時)

トレンド内をドラッグすると、グラフがスクロールします。(タッチスクロール時)

タッチスクロールについては、「4.3 表示」を参照してください。

### ③ スケール表示

チャンネルごとに設定されたスケール幅を表示します。

[③スケール表示]をダブルクリックすると、スケールのマニュアル設定ができます。

(スケールのマニュアル設定については「5.6 スケール表示のマニュアル設定」を参照してください。)

### ④ 単位

チャンネルごとに設定された単位を表示します。

### ⑤ カーソル

このカーソルの日時における測定値が[⑦測定値表示部]に表示されます。

### ⑥ カーソル日時

[⑤カーソル]で選択した位置の日時を表示します。

## ⑦ 測定値表示部

[⑤カーソル]で選択した位置の測定値を表示します。また、チェックボックスを選択することで[④スケール表示]におけるスケール幅とトレンドデータの表示／非表示を切り換えます。

表示：トレンドデータとスケール幅を表示します。

表示：トレンドデータのみ表示します。

表示：トレンドデータとスケール幅を表示しません。

## ⑧ ツールバー

よく使われる機能をショートカットキーとして表示します。(ツールバーの設定変更はできません。)

## ⑨ アラーム発生／解除マーク (マークの表示／非表示に関しては「4.5 イベント/コメント」を参照してください。)

記録中に発生および解除されたアラーム位置をマークして表示します。

## ⑩ メッセージマーク (マークの表示／非表示に関しては「4.5 イベント/コメント」を参照してください。)

記録中に発生したメッセージをマークして表示します。

## ⑪ コメントマーク (マークの表示／非表示に関しては「4.5 イベント/コメント」を参照してください。)

データビューワ内で設定したコメントをマークして表示します。

(コメントの設定については「4.5 イベント/コメント」を参照してください。)

## ⑫ スクロールバー

[⑧ツールバー]の時間軸や Y 軸の設定変更などによってトレンドの表示が欄外に溢れた場合、[⑫スクロールバー]をスライドさせることで表示を切り換えます。

(時間軸、Y 軸の設定については「4.4 ズーム」を参照してください。)

## ⑬ 日時表示

トレンドデータの日時を表示します。

日時表示はオプション設定で変更可能です。オプション設定については「4.3 表示」、「4.9 オプション設定」を参照してください。

## 3.2 瞬時値

各日時の瞬時値を表示する画面です。表示する日時は選択可能です。以下に各部の名称と機能を示します。

時刻	CH1 [pH] 最大値	CH1 [pH] 最小値	CH2 [°C] 平均値
09/07/2015 15:48:20	11.85	11.83	24.6
09/07/2015 15:48:30	11.89	11.85	24.6
09/07/2015 15:48:40	11.93	11.90	24.7
09/07/2015 15:48:50	11.96	11.93	24.8
09/07/2015 15:49:00	11.98	11.96	24.9
09/07/2015 15:49:10	11.99	11.98	24.9
09/07/2015 15:49:20	12.00	11.99	25.0
09/07/2015 15:49:30	12.00	12.00	25.0
09/07/2015 15:49:40	12.00	11.99	25.0
09/07/2015 15:49:50	11.99	11.97	24.9
09/07/2015 15:50:00	11.97	11.95	24.9
09/07/2015 15:50:10	11.95	11.92	24.8
09/07/2015 15:50:20	11.92	11.88	24.7
09/07/2015 15:50:30	11.88	11.83	24.6
09/07/2015 15:50:40	11.83	11.78	24.5

### ① 測定値表示部

記録したデータをチャンネルごとにリストにして一括表示します。表示されるデータはデジタル pH(ORP)計本体で設定した記録種別により異なります。(記録種別については本体取扱説明書「8.9 記録/演算を設定する」を参照してください。)

### ② ページ切り換え

測定値は 1 ページに 1000 件まで表示できますが、それ以上のデータを記録した場合は[②ページ切り換え]で残りのデータを表示できます。

### ③ スクロールバー

欄外に溢れた測定値は、[③スクロールバー]をスライドさせることで表示できます。

### ④ 日時表示

測定値を記録した日時を表示します。なお、測定値はデジタル pH(ORP)計本体で設定した記録周期で表示されます。上図は記録周期を「10 秒」に設定したものです。

(記録周期については本体取扱説明書の「8.13 記録動作を設定する」を参照してください)

### 3.3 イベントサマリ

アラームの発生や、メッセージなど記録中に発生したイベントを表示する画面です。以下に各部の名称と機能を示します。



#### ① イベントタブ

記録中に発生したイベントを[アラーム]、[メッセージ]、[全て]、[コメント]で表示を切り換えます。

#### ② イベント表示部

タブ毎に各イベント情報の詳細をリスト表示します。各タブに表示される項目は、以下の通りです。

表 3.1 タブ毎のイベント表示内容

タブ	説明	項目	
アラーム	記録中に発生した警報イベントを表示します。	時刻	イベント発生時刻
		チャンネル番号	1のみ
		警報レベル(※)	1、2
		状態	発生、解除
メッセージ	記録中に発生したメッセージ・システムメッセージイベントを表示します。	時刻	イベント発生時刻
		イベント種別	メッセージ、システムメッセージ
		メッセージ	メッセージ
全て	アラームとメッセージの両方のイベントを表示します。 ※コメントは表示されません。	時刻、	イベント発生時刻
		イベント種別	警報、メッセージ、システムメッセージ
		イベント状態	ステータスの詳細
コメント	コメントを表示します。データビューワ上でもコメントを追加することができ、その場合は文字が“青色”で表示されます。 (コメントの追加と削除については「4.5 イベント/コメント」を参照してください。)	時刻、	設定時刻
		コメント	コメントの内容

※警報レベルは警報 No.を表します。

# 4. メニューとツールバー

## 4.1 メニュー一覧

メニューは、ファイル・表示・ズーム・イベント/コメント・Language・ウィンドウ・ヘルプの7つに分かれています。メニューにより各種機能が使用できます。



以下にメニューの一覧を示します。また次頁より各メニューおよび各ツールバーの説明を示します。

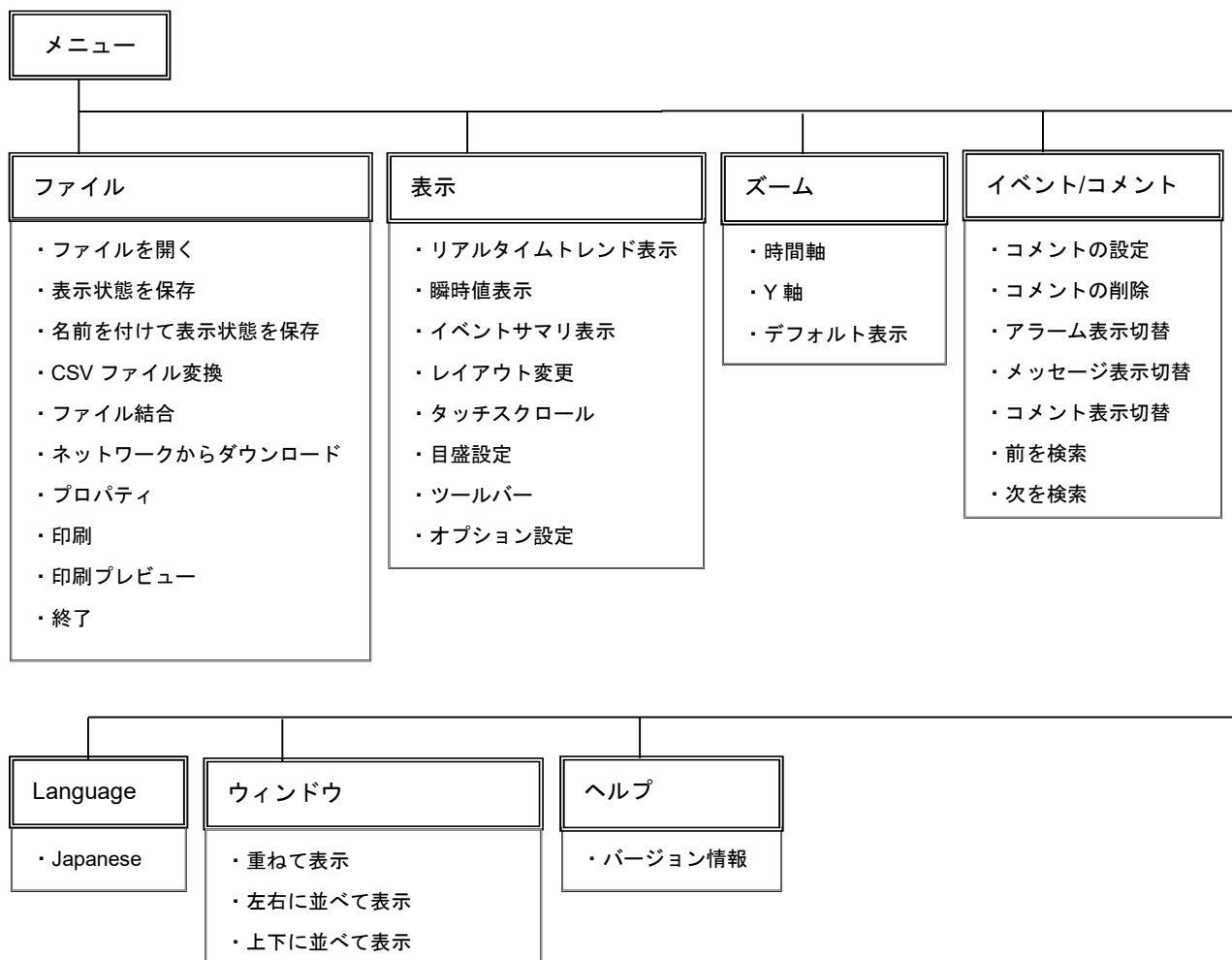


図 4.1 メニューのツリー構造



## 4.2 ファイル

ファイルを選択することにより以下の機能が使用できます。

[ファイル]

項目	機能内容
ファイルを開く	記録データを開きます。(※1)
表示状態を保存	データビューワで設定した情報を保存します。(※2)
名前をつけて 表示状態を保存	データビューワで設定した情報を、名前と保存場所を指定して新規に保存します。(※2)
CSV ファイル変換	測定値、コメント、イベントを CSV ファイルに変換します。(※3)
ファイル結合	複数あるファイルを一つにまとめます。(※4)
ネットワークから ダウンロード	イーサネットを利用して記録データをダウンロードします。(※5)
プロパティ	ファイル名および、そのファイルが作成されたデジタル pH(ORP)計本体の、製品番号、バージョン等の情報を表示します。
印刷	現在表示されている画面を印刷します。
印刷プレビュー	印刷プレビューを表示します。(※6)
終了	データビューワを終了します。

※1 詳細については「2.2 ファイルを開く」を参照してください。

※2 詳細については「2.3 ファイルの保存」を参照してください。

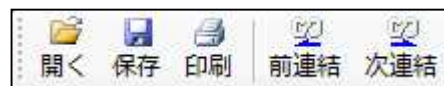
※3 詳細については「5.1 CSV ファイル変換」を参照してください。

※4 詳細については「5.2 ファイル結合」を参照してください。

※5 詳細については「5.4 ネットワークからダウンロード」を参照してください。

※6 詳細については「5.7 印刷プレビュー設定」を参照してください。

対応ツールバー：



## 4.3 表示

表示を選択することにより表示に関する以下の項目を設定可能です。

[表示]

項目	機能内容
リアルタイムトレンド表示	リアルタイムトレンド画面を表示します。(最大8台まで同時に表示可能)(※1)
瞬時値表示	瞬時値の表示／非表示を選択します。
イベントサマリ表示	イベントサマリの表示／非表示を選択します。
レイアウト変更	トレンド画面、瞬時値表示、イベントサマリ表示のレイアウトを変更します。
タッチスクロール	トレンド画面の表示をマウスのドラッグでスクロールできます。
ツールバー	ツールバーの表示／非表示を選択します。
目盛設定	トレンド画面のスケール表示を任意の範囲に設定できます。(※2)
オプション設定	表示および通信機能の設定をするオプション画面を表示します。(※3)

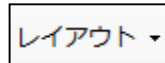
※1 詳細については「5.5 リアルタイムトレンド表示」を参照してください。

※2 詳細については「5.6 スケール表示のマニュアル設定」を参照してください。

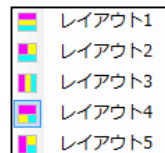
※3 詳細については「4.9 オプション設定」を参照してください。

### ●レイアウト変更

対応ツールバー：



「グラフ表示部」、「瞬時値表示部」、「イベントサマリ表示部」のレイアウトを、以下の5パターンに変更できます。「表示メニュー」、または「ツールバー」から変更できます。



#### ・レイアウト1

グラフ
瞬時値
イベントサマリ

#### ・レイアウト2

グラフ	イベントサマリ
瞬時値	

#### ・レイアウト3

グラフ	瞬時値	イベントサマリ
-----	-----	---------

#### ・レイアウト4

グラフ	
瞬時値	イベントサマリ

#### ・レイアウト5

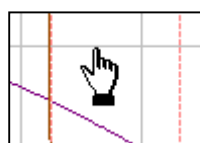
グラフ	瞬時値
	イベントサマリ

### ●タッチスクロール

対応ツールバー：



トレンドグラフをマウスのドラッグでスクロールできます。タッチスクロール機能が“ON”になっている場合、トレンドグラフ上でマウスカーソルが下記左図の状態になり、ドラッグ中は下記右図の状態になります。「表示メニュー」、または「ツールバー」から切り換えられます。



## 4.4 ズーム

ズームを選択することによりトレンド表示に対して、以下の項目を設定可能です。

[ズーム]

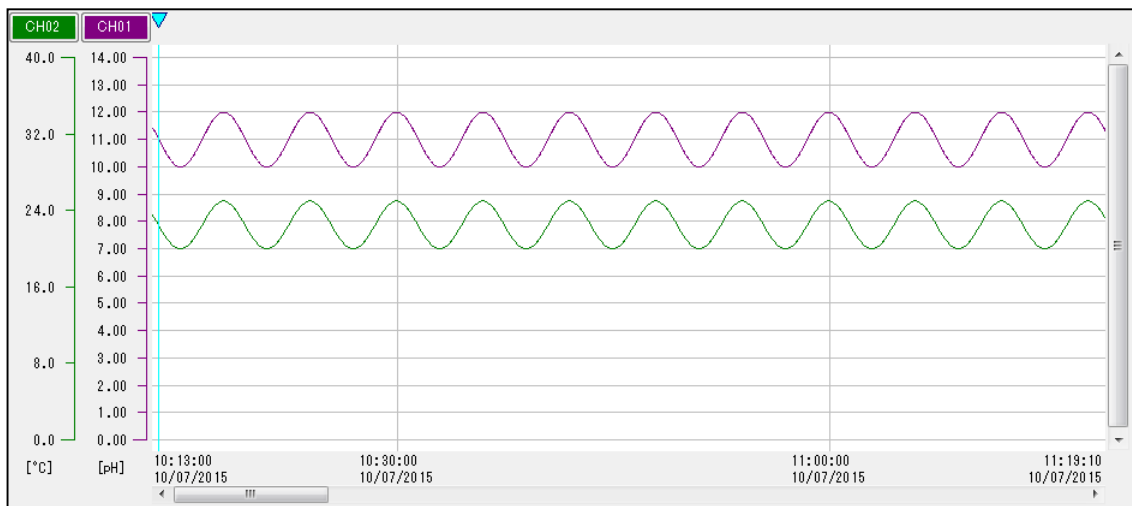
項目	機能内容
時間軸	時間軸の表示方法を選択します。 Dot by Dot 表示 : ドット単位の標準サイズでトレンドを表示します。 全体表示 : トレンドを全体表示します。 2 値間表示 : 始点と終点を指定し、その間のトレンドを表示します。 任意ズーム : 拡大・縮小率を指定し、トレンドを表示します。
Y 軸	Y 軸の表示倍率を選択します。
デフォルト表示	ズームの設定内容を初期値に戻します。

### ●Dot by Dot 表示例

対応ツールバー :



デフォルトの表示設定です。スクロールバーを操作し、表示したい時間のトレンドを表示できます。下記のような表示になります。

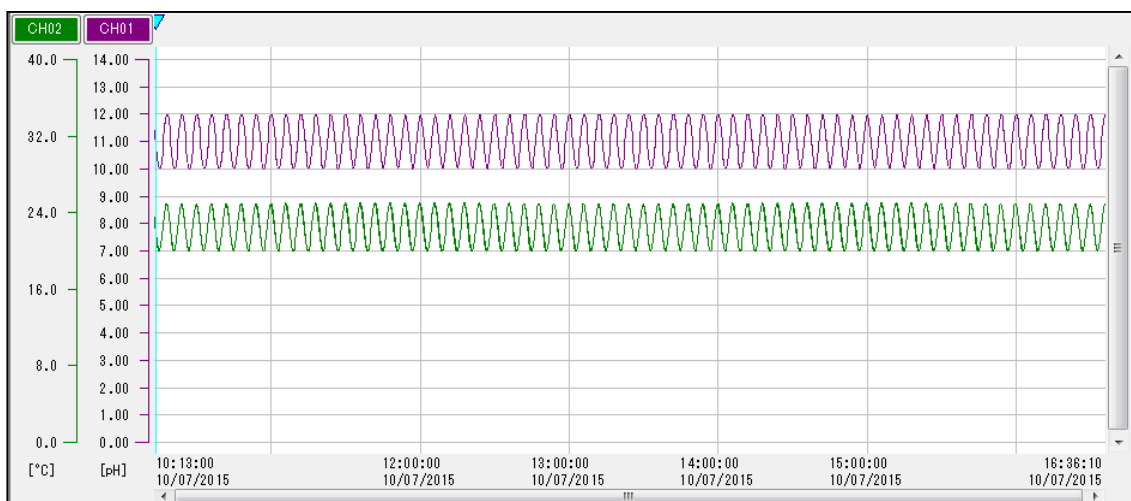


### ●全体表示例

対応ツールバー :



トレンドの全体表示です。ファイル記録周期を 1 時間とした場合、最大 50 時間分のトレンドを全体表示できます。下記のような表示になります。



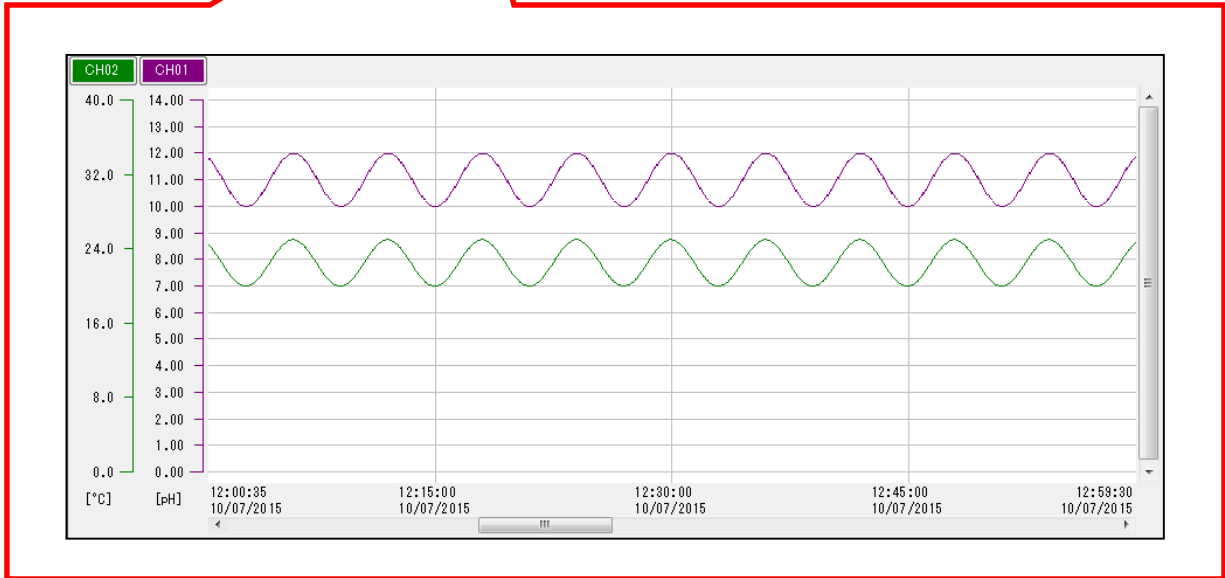
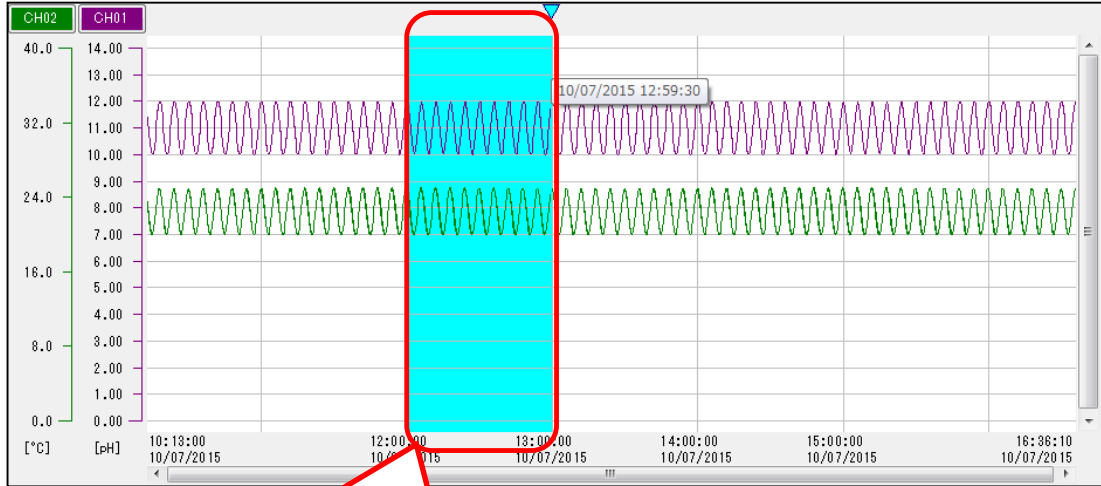
●2 値間表示例

対応ツールバー :



始点と終点を指定し、その間のトレンドを表示します。範囲選択は、グラフ表示部をマウスでドラッグすることで決定します。

クリックで始点を選択し、ドラッグで範囲を選択、マウスボタンを離して終点が決定します。選択中の範囲は、下図のように水色で囲まれます。(離れた位置が始点より古い時間の場合、始点と終点が逆転し、表示されます。)



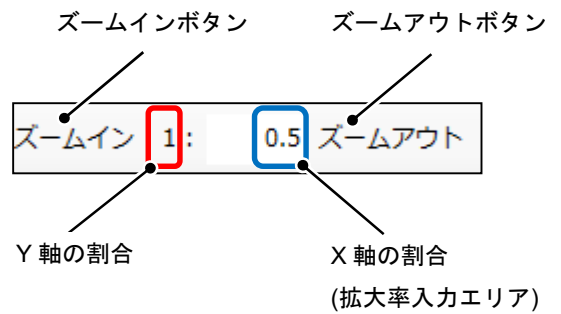
●任意ズーム例

Y 軸を1 とした時のX 軸の割合を数値で入力して、拡大率を設定します。操作はツールバーで行います。

直接数値を入力したり、ツールの「ズームイン」、「ズームアウト」ボタンをクリックすることで、トレンドの拡大・縮小が行えます。

「X 軸の割合」設定可能範囲：0.1~4.0

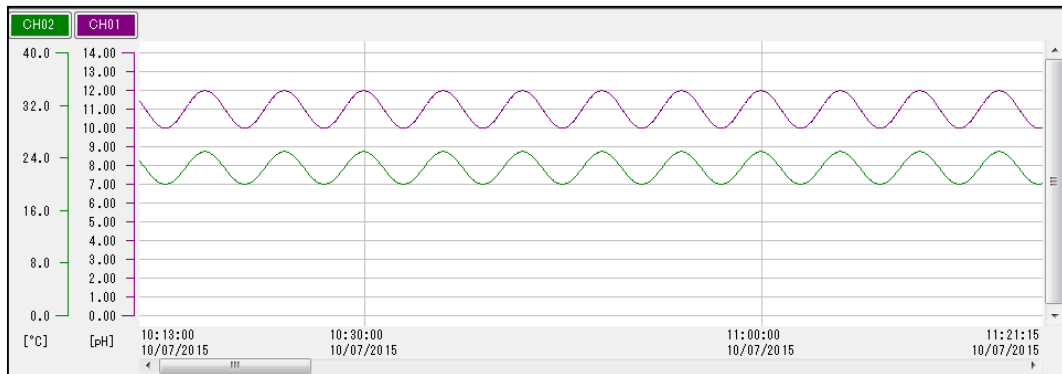
対応ツールバー：



・通常

Y 軸の割合 : X 軸の割合

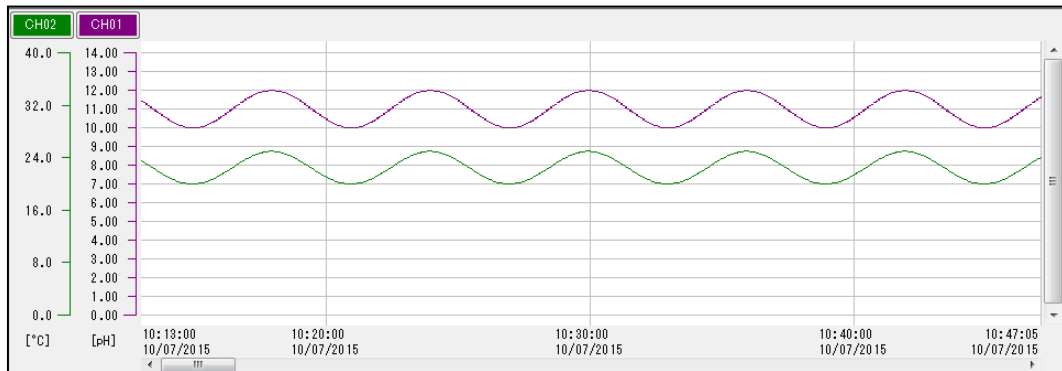
1 : 1.0



・拡大

Y 軸の割合 : X 軸の割合

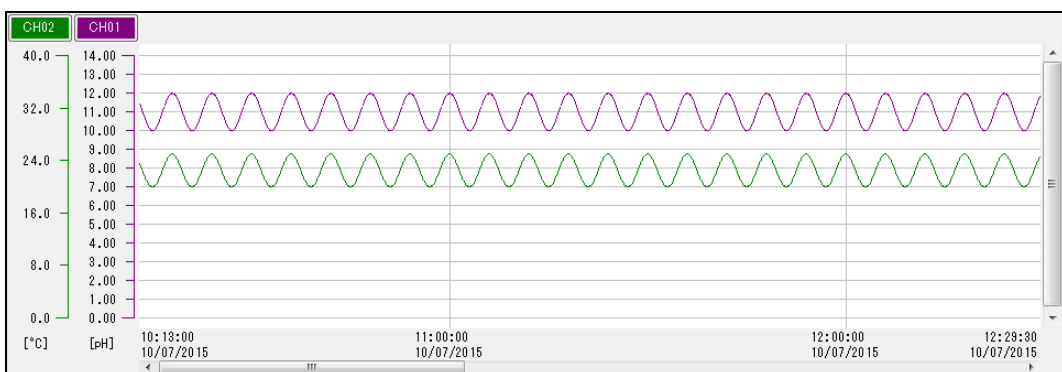
1 : 0.5



・縮小

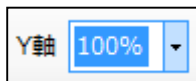
Y 軸の割合 : X 軸の割合

1 : 2.0



●Y 軸ズーム例

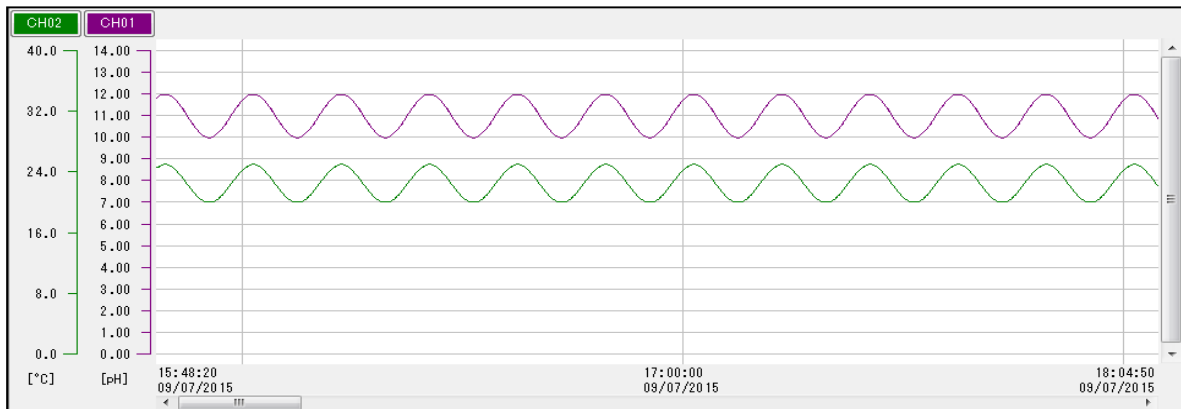
対応ツールバー :



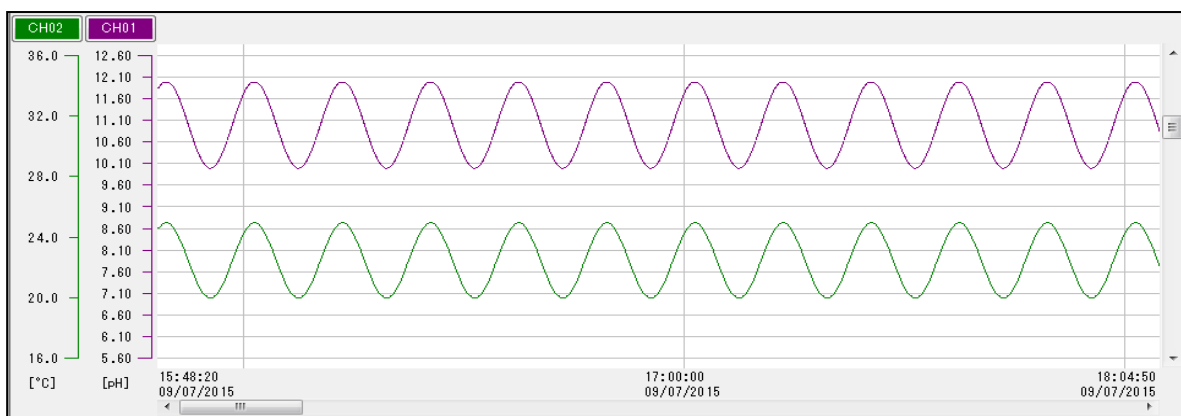
Y 軸方向に拡大することができます。

表示倍率は 100%、125%、200%、400%、1000%から選択可能です。

・表示倍率 : 100%



・表示倍率 : 200%



## 4.5 イベント／コメント

イベント／コメントを選択することにより、イベント／コメントに関する以下の項目を設定可能です。

[イベント／コメント]

項目	機能内容
コメントの設定	トレンド表示部で選択した位置にコメントを入力します。
コメントの削除	トレンド表示部で選択した位置のコメントを削除します。
アラーム表示切替	トレンド表示部のアラームマークの表示／非表示を選択します。
メッセージ表示切替	トレンド表示部のメッセージマークの表示／非表示を選択します。
コメント表示切替	トレンド表示部のコメントマークの表示／非表示を選択します。
前を検索	トレンド表示部の選択された位置から一つ前にあるイベントマークへ移動します。
次を検索	トレンド表示部の選択された位置から一つ後にあるイベントマークへ移動します。

### ●コメントの設定

対応ツールバー：



記録データに、コメントの追加ができます。


追加可能なコメント数は、最大100件です。

追加したコメントは、ビューワリンクファイルで保存します。

(詳細は、「2.3 ファイルの保存」を参照してください。)

保存せずにトレンド画面を閉じると、追加したコメントは消去されるのでご注意ください。

- ①コメントを追加したい位置にカーソル位置を合わせ、「コメントの設定」を実行すると、ダイアログ(下図)が表示されます。

- ②コメントは最大52文字まで入力できます。OK ボタンを押して決定すると、イベントサマリ内の「コメント」(下図)に追加されます。また、トレンド内にもコメント表示マーク  が表示されます。

時刻	チャネル	コメント
09/07/2015 16:13:50	1	ABCDEFGH

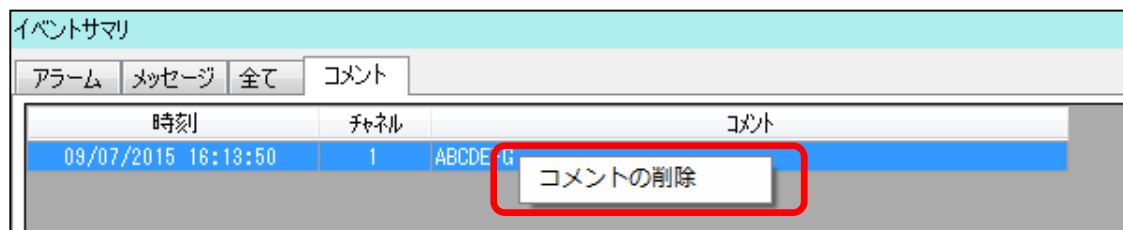
#### ●コメントの削除

対応ツールバー：



カーソル位置を削除したいコメントの登録位置に合わせるか、イベントサマリ部のコメント一覧から選択して、「コメントの削除」を実行してください。

また、コンテキストメニューからの削除もできます。削除したいコメントを選択した状態で“右クリック”をすると、コンテキストメニュー(下図)が表示されます。メニューをクリックして「コメントの削除」を実行してください。



※ データビュー上で追加したコメントのみ削除可能です。デジタルpH(ORP)計本体で登録されたコメントは削除できません。

#### ●アラーム表示切替／メッセージ表示切替／コメント表示切替

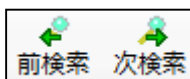
対応ツールバー：



トレンド内のアラーム表示マーク、メッセージ表示マーク、コメント表示マークの表示／非表示を切り替えます。

#### ●前を検索／次を検索

対応ツールバー：



イベントのマーク位置を検索移動します。アラーム表示切替／メッセージ表示切替／コメント表示切替で“表示”になっているイベントのみ検索の対象となります。“非表示”のイベントは、検索でスキップされます。

- ・前を検索：トレンド表示部の選択された位置から一つ前にあるイベントマークへ移動します。
- ・次を検索：トレンド表示部の選択された位置から一つ後にあるイベントマークへ移動します。



## 4.6 Language

Language は選択しないでください。

## 4.7 ウィンドウ

ウィンドウを選択することにより、複数の測定データを開いた場合の表示を選択できます

[ウィンドウ]

項目	機能内容
重ねて表示	ウィンドウが複数ある場合、重ねて表示します。
左右に並べて表示	ウィンドウが複数ある場合、左右に並べて表示します。
上下に並べて表示	ウィンドウが複数ある場合、上下に並べて表示します。

## 4.8 ヘルプ

バージョン情報を選択することにより、データビューワのバージョン確認が行えます。

[ヘルプ]

項目	機能内容
バージョン情報	データビューワのバージョンを表示します。

## 4.9 オプション設定

「表示」と「通信機能」の設定を行います。それぞれタブで設定項目が分かれています。通信は、最大でデジタル pH(ORP)計 8 台分の通信設定が可能です。(設定方法の詳細は、「5.3 通信設定」を参照してください。) 設定変更後、**OK** ボタンを押して、設定を保存してください。

各オプション設定を行います。

表示 **通信**

グラフ設定

背景色

グリッド

プレビュー


時刻フォーマット

yyyy/mm/dd hh:mm:ss     dd-mmm-yy hh:mm:ss

dd/mm/yyyy hh:mm:ss     mmm-dd-yy hh:mm:ss

OK キャンセル

各オプション設定を行います。

表示 **通信**

No.1 No.2 No.3 No.4 No.5 No.6 No.7 No.8

タブ名称

リアルタイムトレンド設定

データ周期(秒)

ステーションNo.

IPアドレス

FTP設定

ホスト名

ユーザー名

パスワード

OK キャンセル

### [表示]

項目	設定値/入力範囲	内容
背景色	全ての色	トレンド画面、リアルタイムトレンドのグラフの背景色を設定します。(※1)
グリッド	〃	トレンド画面、リアルタイムトレンドのグラフの分割線の色を設定します。(※1)
時刻フォーマット	yyyy/mm/dd hh:mm:ss dd/mm/yyyy hh:mm:ss dd-mmm-yy hh:mm:ss mmm-dd-yy hh:mm:ss	記録データの測定時刻等、データビューワ全体の時刻フォーマットを設定します。(※2)
共通目盛表示	共通目盛表示を使用する	測定ファイルを開いた時、共通目盛表示を有効にします。各チャンネルの目盛の初期状態は非表示の状態になります。

※1 色選択ダイアログにて、任意の色を選択します。プレビューにグラフのイメージが表示されますので参考にしてください。

※2 時刻フォーマットの例 (2015年4月1日13時0分0秒の場合)

yyyy/mm/dd hh:mm:ss → 2015/04/01 13:00:00  
 dd/mm/yyyy hh:mm:ss → 01/04/2015 13:00:00  
 dd-mmm-yy hh:mm:ss → 01-Apr-15 13:00:00  
 mmm-dd-yy hh:mm:ss → Apr-01-15 13:00:00

[通信]

カテゴリ	項目	設定値/入力範囲	内容
共通	タブ名称	最大 16 文字	デジタル pH(ORP)計本体に任意の名前を付けます。デフォルトでは“No.1”~“No.8”です。
リアルタイムトレンド設定	データ周期(秒)	1, 2, 3, 5, 10, 20,30, 60	瞬時値データを取得する周期を選択します。
	ステーション No.	0~247	デジタル pH(ORP)計本体のステーション No.を入力します。
	IP アドレス	0.0.0.0~255.255.255.255	デジタル pH(ORP)計本体の IP アドレスを入力します。(※1)
FTP 設定	ホスト名	最大 52 文字	デジタル pH(ORP)計本体の IP アドレスを入力します。(※1)
	ユーザ名	最大 32 文字	ユーザ名を入力してください。(※1)
	パスワード	〃	パスワードを入力してください。(※1)

※1 詳細については「5.3 通信設定」を参照してください。

## 5. その他の操作

### 5.1 CSV ファイル変換

データビューワのメニューバーから [ファイル] ⇒ [CSV ファイル変換] を選択すると、記録したデータを CSV ファイルに変換できます。

CSV ファイルは Excel 等で参照できます。

①データ出力範囲

②ヘッダ情報の付加

#### ① データ出力範囲

データを出力する範囲を全データ、範囲指定から選択します。

全データ：記録開始から記録停止までのデータを CSV に出力します。

範囲指定：任意の範囲を CSV に出力します。(初期値は全データの範囲になっています。)

#### ② ヘッダ情報の付加

CSV ファイルにチャンネル情報やグループ情報等のヘッダ情報を付加します。

作成するフォルダを指定して CSV ファイルに変換すると、次の 3 つのファイルが作成されます。

- \*\*\*dmt.csv ファイル：トレンドファイル
- \*\*\*dmc.csv ファイル：コメントファイル
- \*\*\*dme.csv ファイル：イベントファイル

※ \*\*\*の部分には、記録日時が表記されます。

例) 2015 年 07 月 09 日 15 時 48 分 20 秒に記録を開始した場合

記録日時は「150709154820」となります。

## 5.2 ファイル結合

データビューワのメニューバーから [ファイル] ⇒ [ファイル結合] を選択すると、複数ある dmt ファイルを一つのファイルにまとめることができます。

(ツールバーの [前連結] および [次連結] でも同じ操作ができます。ツールバーについては「3.1 トレンド画面」を参照してください。)

(dm、dmt ファイルについては、「2.4 SD カードのフォルダ構成」を参照してください。)

### ① 前のデータと結合

現在開いているファイルから一つ前の dmt ファイルを結合し、一つのファイルとして表示します。

### ② 次のデータと結合

現在開いているファイルから一つ後の dmt ファイルを結合し、一つのファイルとして表示します。

※ dmt ファイルが一つしかない場合は、ファイルを結合することができません。dmt ファイルを複数作るためには、デジタル pH(ORP)計本体の [パラメータ設定] ⇒ [記録設定] ⇒ [記録動作(メイン)] で、ファイル記録周期を設定した後に、その設定値を上回る時間のファイル記録をする必要があります。(ファイル記録周期については本体取扱説明書「8.13 記録動作を設定する」を参照してください。)

※ dm ファイルは結合できません。(dm ファイルの[ファイル結合]を行うと、次の dm ファイル(および前の dm ファイル)に表示を切り換えます。)

また、複数の dm ファイルでそれぞれ管理されている dmt ファイル同士を[ファイル結合]することはできません。

(一つの dm ファイルで dmt ファイルを 50 個まで管理できます。50 個以上の dmt ファイルが作成された場合、新しく dm ファイルを作成します。dmt ファイルは、dm ファイルで管理されている 50 個の dmt ファイル間でのみ結合できます。)

一つの dm ファイル間で記録できる時間を増やすには、ファイル記録周期を設定する必要があります。

### ● ファイル記録周期と dm ファイルの関係

ファイル記録周期「1 時間」の場合：

1 時間経過するごとに dmt ファイルを一つ作成し、50 個作成すると(50 時間経過すると)、dm ファイルを一つ作成します。

ファイル記録周期「1 週間」の場合：

1 週間経過するごとに dmt ファイルを一つ作成し、50 個作成すると(50 週経過すると)、dm ファイルを一つ作成します。

## 5.3 通信設定

データビューワのメニューバーから [ファイル] ⇒ [オプション設定] ⇒ [通信] タブを選択すると、通信の設定を行うことができます。「ネットワークからダウンロード」、「リアルタイムトレンド」を使用する前に通信の設定を行う必要があります。下記に PC の IP アドレス設定の確認および通信機能の設定方法について示します。

### ●PC の IP アドレス設定例

- ・ OS 毎に下記の操作を行ないます。

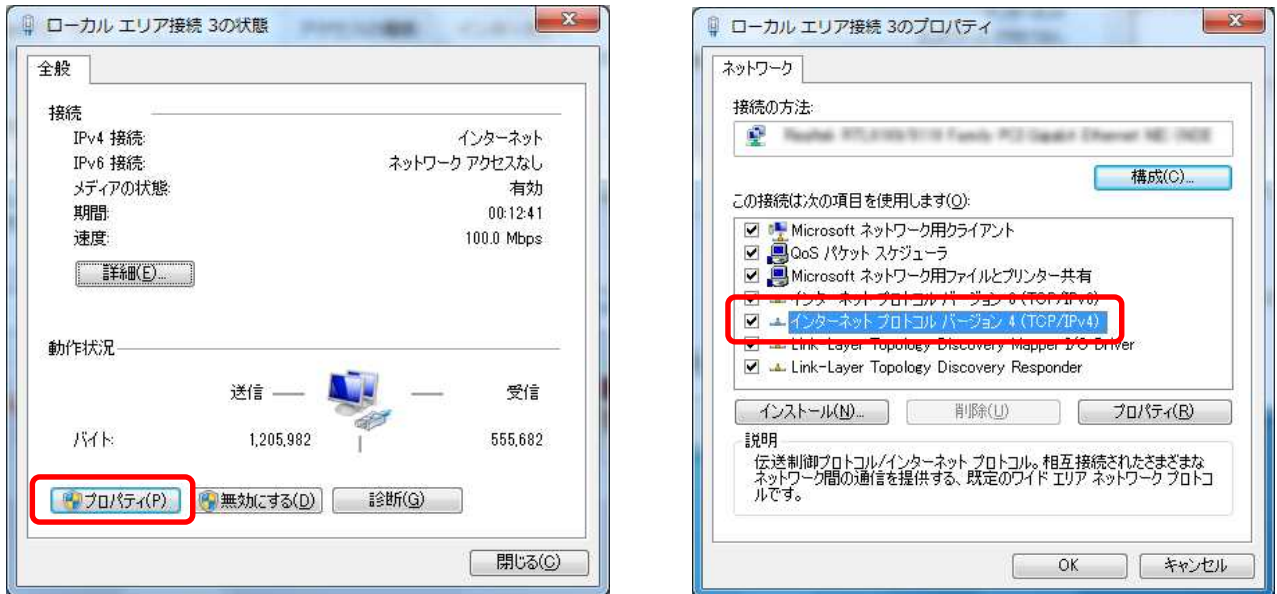
Windows7 : [スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [ネットワークと共有センター] を開く。

Windows8.1 : [設定] → [コントロールパネル] を開き、 [ネットワークと共有センター] を開く。

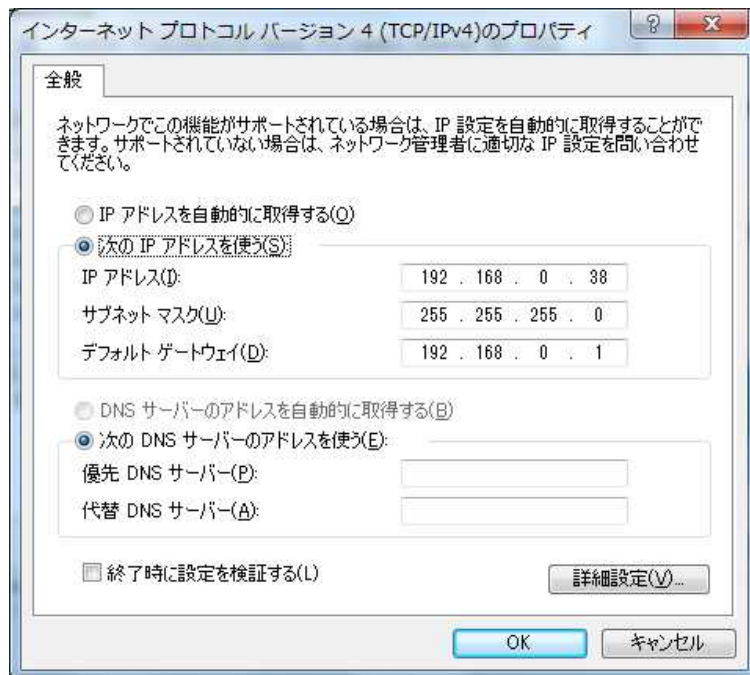
Windows10 : 「スタートメニュー」 → 表示されたアプリの一覧の「W」欄から「Windows システムツール」  
→ 「コントロールパネル」 → [ネットワークと共有センター] を開く。



- ・ [アクティブなネットワークの表示] の [接続] を選択すると、接続の状態が表示されます。



- ・ **プロパティ** ボタンを押すと、接続のプロパティが表示されます。
- ・ 一覧から [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)] を選択すると、[インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)プロパティ] が表示されます。

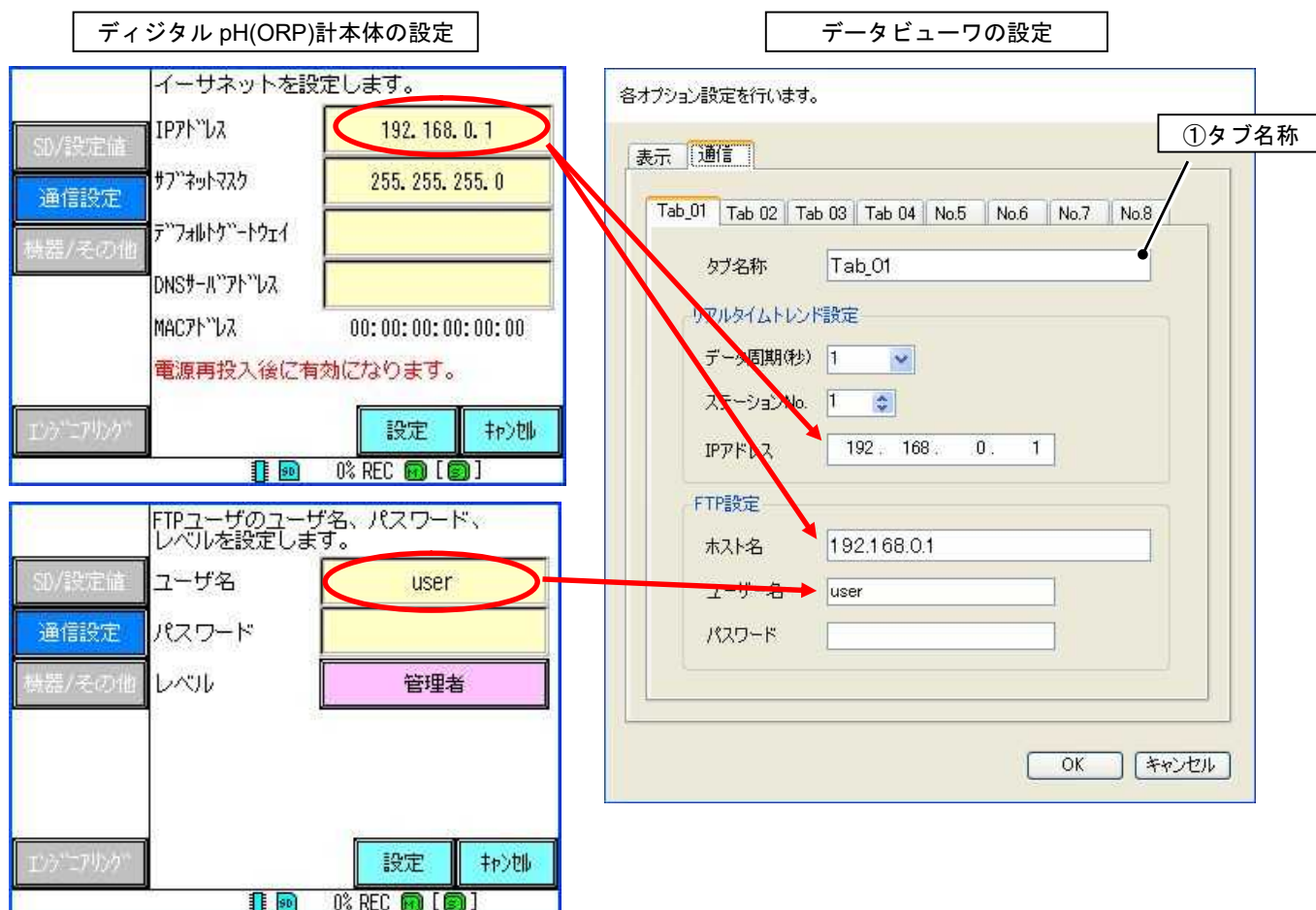


- ・ [IP アドレス] と [サブネットマスク] を任意に設定します。ここでは IP アドレスを「192.168.0.38」、サブネットマスクを「255.255.255.0」に設定します。

※ IP アドレスとサブネットマスクおよび、デフォルトゲートウェイと DNS サーバーアドレスを設定する際は、ネットワーク管理者にお問い合わせの上、慎重に設定してください。設定が正しくない場合、ネットワークに障害が発生する危険性があります。

- 通信機能の設定例

データビューワのメニューバーの [表示] ⇒ [オプション設定] を選択し、[通信] タブに切り換えると、下図 (右) が表示されます。



[リアルタイムトレンド設定]の IP アドレスと[FTP 設定]のホスト名を、デジタル pH(ORP)計本体の設定(※イーサネット 1)と同じになるように設定します。(ここでは「192.168.0.1」と設定します。)

[FTP 設定]のユーザー名とパスワード(省略可能)を、デジタル pH(ORP)計本体の設定(※FTP)と同じになるように設定します。(ここでは「user」と設定します。)

[OK]を選択し、設定を保存します。

※デジタル pH(ORP)計本体設定 (イーサネットと FTP の設定) についての詳細は、本体取扱説明書の「9.7 イーサネット 1 を設定する」と 「9.11 FTP を設定する」を参照してください。

また、タブを切り換えることで、最大 8 台までデジタル pH(ORP)計の通信設定ができます。

#### ① タブ名称

オプション設定の通信タブ(No.1~No.8)および、装置選択画面、リアルタイムトレンド表示画面において、通信 No.ごとに名称を設定できます。

(装置選択画面については次頁を参照してください。また、リアルタイムトレンド表示については「5.5 リアルタイムトレンド表示」を参照してください。)



## 5.4 ネットワークからダウンロード

デジタル pH(ORP)計本体と PC をネットワークでつないで、記録ファイルを直接 PC にダウンロードすることができます。

データビューワのメニューバーの [ファイル] ⇒ [ネットワークからダウンロード] ⇒ [接続] を選択すると、デジタル pH(ORP)計本体との接続を開始します。接続する前に通信設定をご確認ください。通信設定の詳細については「5.3 通信設定」を参照してください。

ネットワークの接続が完了すると、装置選択画面が表示されます。また、通信を行うアドレスを選択すると、ダウンロード画面が表示されます。

※デジタル pH(ORP)計本体に SD カードが挿入されていない状態で接続すると、エラーが発生します。デジタル pH(ORP)計本体に SD カードを挿入してから、再度接続してください。



この場合、[Data]フォルダ内の dm ファイルを選択し、[ダウンロード]を押すとファイルのダウンロードができます。ダウンロードしたファイルは、PC 上の指定したコピー先に保存されます。



※ データビューワで参照できるファイルは、dm ファイルまたは dmt ファイルです。

dm ファイルを読み込むには、同フォルダ上に dm ファイルが管理する dmt ファイルと dme ファイルが必要です。(各ファイルの詳細については本体取扱説明書「2.4 SD カードのフォルダ構成」を参照してください。)

## 5.5 リアルタイムトレンド表示

デジタル pH(ORP)計本体と PC をつなぎ、トレンドデータをデータビューワに表示します。

データビューワのメニューバーの[表示]⇒[リアルタイムトレンド表示]を選択すると、デジタル pH(ORP)計本体との接続を開始します。(最大 8 台まで同時接続が可能です。)

※ 接続する前に、メニューバーの「オプション設定」から、リアルタイムトレンドの設定を、デジタル pH(ORP)計本体の IP アドレスと合わせる必要があります。

(デジタル pH(ORP)計本体の IP アドレスは、[システム設定] ⇒ [通信設定] ⇒ [イーサネット 1] から設定できます。詳細については、「5.3 通信設定」を参照してください。)



### ① メイン記録開始/停止ボタン

デジタル pH(ORP)計本体のメイン記録の開始/停止をします。

- (点滅) : 記録中
- : 記録停止中

### ② サブ記録開始/停止ボタン

デジタル pH(ORP)計にサブ記録機能はありませんので、使用できません。

### ③ モニタ開始/停止ボタン

リアルタイムトレンド表示の開始/停止をします。

### ④ グラフ表示切り換え

トレンドデータの種類をグラフ表示/デジタル表示等から選択できます。

### [デジタル表示]

The screenshot shows a software interface with a top navigation bar containing buttons for 'グラフ表示', 'デジタル表示', '表示スパン', '10分', 'メイン記録', '開始', '停止', 'サブ記録', '開始', '停止', 'モニタ', '開始', '停止'. Below this, there are tabs for 'pH/ORP', '全デジタル表示', and '瞬時値表示'. The main display area shows the measurement time '測定時間: 17/07/2015 14:25:56' and two data tables.

CH1	電極	CH2	温度
11.22	1	23.0	1
	2		2
	3		3
	4		4
	pH		°C

### [瞬時値表示]

The screenshot shows the '瞬時値表示' (Real-time Value Display) interface. It features a top bar with 'グラフ表示', 'デジタル表示', '表示スパン', '10分', 'メイン記録', '開始', '停止'. Below the bar are tabs for 'pH/ORP', '全デジタル表示', and '瞬時値表示'. A '更新' (Refresh) button is located above a table of data.

時刻	CH1 [pH]	CH2 [°C]
17/07/2015 14:12:07	10.83	22.1
17/07/2015 14:12:08	10.75	21.9
17/07/2015 14:12:09	10.66	21.7
17/07/2015 14:12:10	10.58	21.5
17/07/2015 14:12:11	10.50	21.3
17/07/2015 14:12:12	10.43	21.1
17/07/2015 14:12:13	10.36	20.9
17/07/2015 14:12:14	10.30	20.7
17/07/2015 14:12:15	10.24	20.6
17/07/2015 14:12:16	10.18	20.5
17/07/2015 14:12:17	10.14	20.3
17/07/2015 14:12:18	10.10	20.2

#### ⑤ 表示スパン

リアルタイムトレンド表示画面の端から端までの表示スパンを変更します。

#### ⑥ 通信状態

現在の通信状態を表示します。

点滅 : データビューワとデジタル pH(ORP)計本体が通信中であることを表します。

常時点灯 : データビューワとデジタル pH(ORP)計本体が通信中でないことを表します。

#### ⑦ 測定周期

リアルタイムトレンドの測定周期(記録周期)を表示します。

測定周期はメニューバーの[表示] ⇒ [オプション設定] ⇒ [通信] ⇒ [データ周期(秒)]から設定できます。(デジタル pH(ORP)計本体の「記録周期」とは関係ありません。)

#### ⑧ 測定時間

現在の日時を表示します。

#### ⑨ 測定回数

リアルタイムトレンドの測定データを更新した回数を表示します。(更新周期は、[⑦測定周期]に依存します。)

サンプリングの最大表示数は 86400 件です。86400 件を越えた場合、古いデータから削除していきます。

## 5.6 スケール表示のマニュアル設定

トレンド画面のスケール表示を任意の範囲に設定できます。

[メニューバー]-[表示]-[目盛設定]を選択すると、スケール設定画面(下図)を表示します。

また、トレンド画面の[スケール表示]をダブルクリックすることで表示できます。

(スケール表示については、「3.1トレンド画面」を参照してください。)



### ① チャンネル／タグ表示切り換え

チャンネル No.およびタグの表示を切り換えます。

### ② 使用範囲設定

使用する目盛範囲を、オートとマニュアルから選択します。

オート : スケールに[④目盛範囲]の設定値を使用せず、記録データの初期設定値を使用します。

マニュアル : スケールに[④目盛範囲]の設定値を使用します。

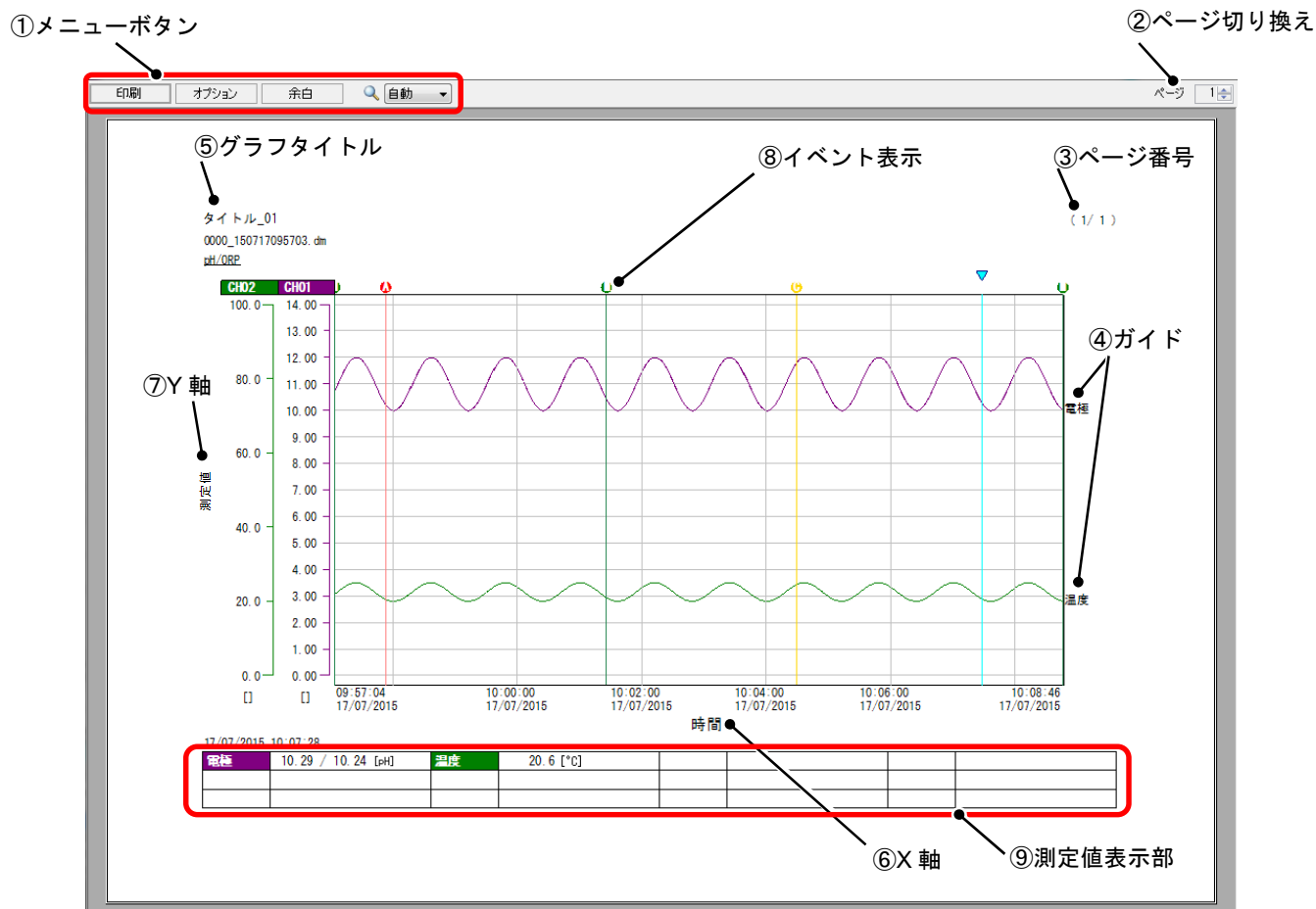
### ③ 目盛範囲

目盛範囲(L)および目盛範囲(H)を設定します。設定可能範囲(-32000~32000)を超える値を入力すると、自動的に0が入力されます。(設定可能範囲は小数点位置で変更されます。)

## 5.7 印刷プレビュー設定

データビューワで表示している記録データを印刷する際に、イベントデータやグラフタイトル等を付加して印刷することができます。

印刷イメージは画面表示されているスケールに依存します。全データを1枚に印刷したい場合は、**ALL**「ズーム：全体表示」を選択します。画面上でスクロールするスケールの場合は、複数ページにまたがって印刷されます。



### ① メニューボタン

プレビューの印刷や、オプションおよび余白を設定します。

### ② ページ切り換え

記録データが2ページ以上ある場合は、[②ページ切り換え]で表示するページを切り換えます。

オプション設定の[⑩印刷種別]が「ページ単位」の時のみ操作できます。

(オプション設定については次頁を参照してください。)

### ③ ページ番号

印刷する記録データに、現在のページ番号を付加します。

### ④ ガイド

各CHの測定データに、タグ名称をガイドとして付加します。

### ⑤ グラフタイトル

印刷する記録データに、任意のタイトルを付加します。

### ⑥ X軸

印刷する記録データに、任意のX軸名称を付加します。

⑦ Y 軸

印刷する記録データに、任意の Y 軸名称を付加します。

⑧ イベント表示

印刷する記録データに、記録時等に発生したイベントの内容を付加します。

イベントの内容は、マーク(コメントマーク等)の付加位置を先頭として、最大 3 行まで並べて表示します。

同時刻上で 3 行以上のイベントが発生した場合は、イベントを重複して表示します。

また、イベントの表示箇所は、オプション設定でトレンド内またはトレンド外から選択できます。

(オプション設定については「●オプション設定」を参照してください。)

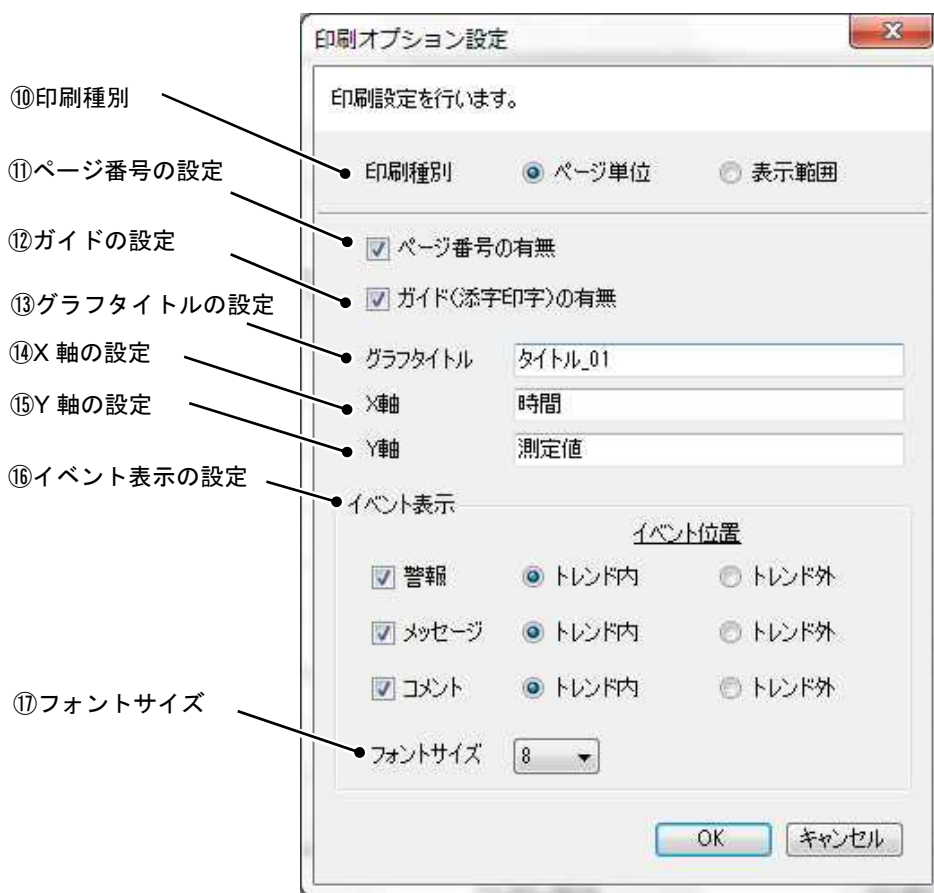
⑨ 測定値表示部

[カーソル]で選択した位置の測定値を表示します。

印刷プレビューでは、カーソルの移動はできません。また、カーソルが表示されていないページに切り換えた時、[⑨測定値表示部]は空白になります。

●オプション設定

印刷プレビュー画面の[オプション]ボタンを押すと、印刷オプション画面(下図)が表示されます。



⑩ 印刷種別

プレビューを表示する範囲を、ページ単位と表示範囲から選択します。

ページ単位：記録データの全ての範囲をプレビュー画面で表示します。2 ページ以上ある場合は、[②ページ切り換え]からページを切り換えます。

表示範囲：トレンド画面で表示している範囲をプレビューに表示します。この時、[②ページ切り換え]は操作できません。

⑪ ページ番号の設定

[③ページ番号]の表示／非表示を設定します。

⑫ ガイドの設定

[④ガイド]の表示／非表示を設定します。

⑬ グラフタイトルの設定

[⑤グラフタイトル]に表示するグラフタイトルの名称を設定します。

⑭ X 軸の設定

[⑥X 軸]に表示する X 軸の名称を設定します。

⑮ Y 軸の設定

[⑦Y 軸]に表示する Y 軸の名称を設定します。

⑯ イベント表示の設定

[⑧イベント表示]の表示／非表示を設定します。また、表示箇所をトレンド内、トレンド外から選択します。

⑰ フォントサイズ

[⑧イベント表示]のフォントサイズを設定します。(その他の設定項目のフォントサイズは変更しません。)